



株主通信

平成27年3月期報告書
平成26年4月1日～平成27年3月31日



株主の皆様へ

売上高は3期連続増収

平成25年にスタートした第五次中期経営計画「RISO Vision 16」の2年目となる平成27年3月期の概況について、社長の羽山明がご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

インクジェット事業の販売が好調

平成27年3月期の業績は、売上高が前期比2.1%増の856億7千4百万円、営業利益が同3.8%増の68億3千9百万円、当期純利益が同22.8%増の56億2千4百万円となりました。

売上高は、インクジェット事業の販売好調により3期連続の増収となりました。国内は、消費税率変更に伴う駆け込み需要の反動減で減収となったものの、海外でインクジェット事業が欧州、アジアで順調に推移し増収となりました。当期における海外売上高比率は前期比2.3ポイント増の42.6%、インクジェット事業の連結売上高構成比は前期比3ポイント増の43%となりました。

営業利益は、海外での収益改善に加え、為替の円安影響により増加しました。当期純利益は、米国子会社の繰延税金資産の見直しや、過年度に減損処理をした遊休不動産の売却により法人税等が減少したため増加しました。

全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を推進

中期経営計画「RISO Vision 16」の経営目標は「個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する」です。2年目の当期はこの経営目標のもと、5つの重点施策を推し進めました。

ひとつ目の「販路拡充と新規顧客の獲得を推進し、MIF

〔市場設置台数〕の増加に傾注する〕については、毎分150枚のプリントスピードを最大の特長とする高速フルカラープリンター「オルフィス」の優位性を前面に打ち出し、国内外で販路の拡大と新しい市場の開拓に取り組みました。

「健全な海外販売体制を構築し、売上の拡大・利益の拡大を実現する」では、海外販売網の拡充とともに本社からの支援体制を強化し、販促活動の活性化や需要の掘り起しに努めました。その結果、海外でのインクジェット事業は順調に成長し、売上は前期を上回りました。特に、欧州、アジアでの販売増加が寄与しました。

営業利益についても、欧州、アジアの両地域で増加しました。欧州ではインクジェットの本体販売が堅調に推移したことに加え、消耗品が順調に伸びたことで収益が改善し、前年を大きく上回る11億5百万円となりました。アジアでは為替の影響により前期比28.9%増の6億3千6百万円となりました。



「くろみ製本システム」を装備した「オルフィスEX9050」

「生産拠点を再編成し、新たな生産体制に移行する」では、昨年3月にタイ・アユタヤ県のロジアナ工場が竣工し、従来のレンタル工場から移転を終え、4月からリソグラフ本体の生産を開始しました。海外生産は中国とタイの2カ国で行い、今後も生産体制の最適化に努めます。

日本国内では、昨年5月に霞ヶ浦事業所から筑波事業所にオルフィスの消耗品の生産を移管しました。

第五次中期経営計画 RISO Vision 16

(平成25年4月1日～平成28年3月31日)

経営目標

個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

重点項目

- (1) 海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る
- (2) インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす
- (3) 孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する
- (4) 将来をにらみ新たな生産体制をつくる
- (5) 新規事業創出に挑戦する
- (6) 事業参画意識を高め、常にチャレンジする社風をつくる



用途に合わせた拡張機能の提案にも注力

インクジェット事業については、国内外ともにオフィス
の拡販に努めるとともに、用途に合わせた拡張機能の提案
にも注力しました。「自動封入封かんシステム」や「くるみ製
本システム」「大容量排紙システム」など、他社にはない独
自のソリューションをラインアップし、新しい市場を積極的
に開拓しました。

孔版事業では、昨年5月にリソグラフの上位2シリーズ
「リソグラフMEシリーズ／SEシリーズ」の全9機種を全
世界で発売しました。SEシリーズは、毎分185枚という業
界最速のプリントスピードを実現し、国内外から高い評価
をいただいています。こうした製品の優位性を活かしなが
ら、エリアごとにお客様へのサポートを充実させ、販路の
拡大と収益向上に努めました。

当期末配当は15円増配の45円に

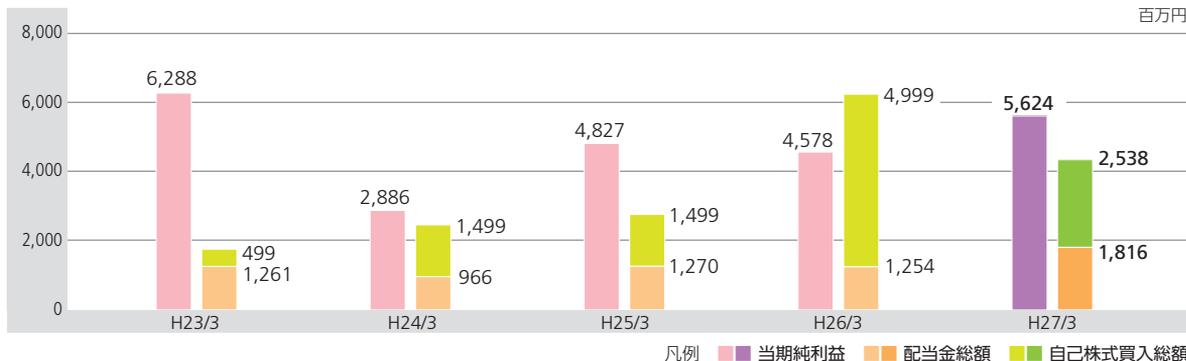
当社は、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果
の配分を行うこと、そして安定配当の継続に努めることを利
益配分の基本方針としています。また、自己株式の取得も利
益還元のひとつと考え、株価水準や市場動向を勘案しなが
ら実施しています。所有する株式は原則として消却します。

現中期経営計画「RISO Vision 16」期間中の利益配分に
ついては、基本方針をふまえた上で業績を反映させ、業績
が好調の際には利益配分を増やしていく考えです。

平成27年3月期末の配当は、前期より15円増配の1株に
つき45円といたしました。当社の業績は平成25年3月期か
ら当期にかけて3期連続で当期純利益が40億円を超えて
います。当期は、このような業績と財務状況に鑑み、基本方
針における安定水準を見直し増配としました。

なお、当社は株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図
ることを目的に、平成27年1月1日付で当社普通株式を1株
につき2株の割合で株式分割しました。

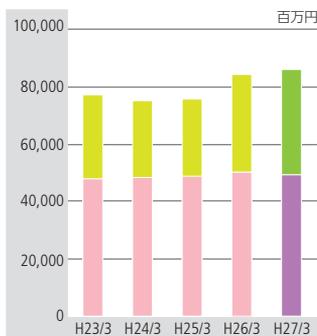
株主還元



連結業績ハイライト

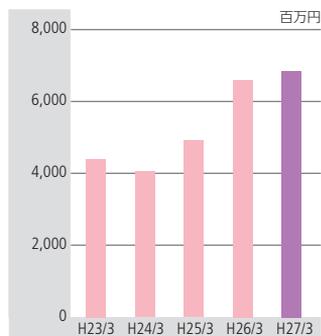
(注)記載金額は、表示金額未滿を切り捨てて表示しております。

売上高

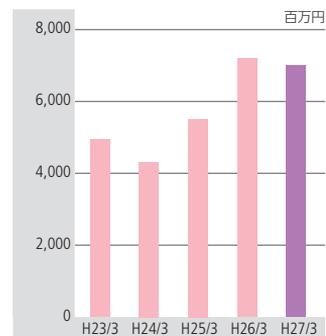


凡例 ■ 国内 ■ 海外

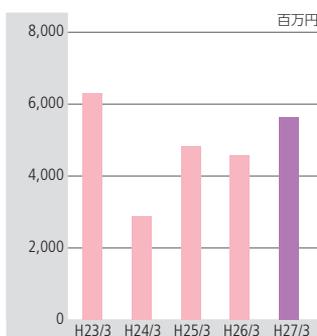
営業利益



経常利益



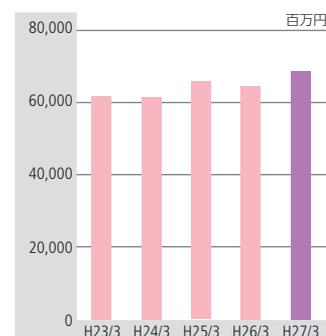
当期純利益



売上高営業利益率



純資産



		平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	(百万円)	76,897	74,847	75,455	83,938	85,674
国内	(百万円)	47,758	48,196	48,637	50,077	49,158
海外	(百万円)	29,138	26,651	26,817	33,861	36,516
営業利益	(百万円)	4,406	4,050	4,910	6,588	6,839
経常利益	(百万円)	4,939	4,309	5,512	7,192	6,999
当期純利益	(百万円)	6,288	2,886	4,827	4,578	5,624
売上高営業利益率	(%)	5.7	5.4	6.5	7.8	8.0
純資産	(百万円)	62,095	61,825	66,033	64,804	68,946



新規顧客の獲得に注力し、海外事業の拡大を目指す

中期経営計画「RISO Vision 16」の最終年度となる
今期の方針や施策、事業展開についてご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

重点地域を中心に迅速に市場開拓を推進

平成28年3月期は、下記の経営方針を積極的に推進し、引き続き全世界で新規市場・新規顧客の獲得に注力して、最重要課題である海外事業の拡大を目指します。

販売面では、ワールドワイドでの市場設置台数の増加に努めます。特に、海外において当社ビジネスのシェア拡大が見込める重点地域を中心に、スピード感をもって市場開拓を行い、事業の拡大を進めていきます。その一環として、本年4月、シンガポール市場での印刷機器事業の販売拡大を図るため、現地販売子会社「RISO (SG) PTE. LTD.」を設立しました。同社はこの7月より営業を開始します。

生産面については、新たな生産体制づくりを継続していきます。当社は近年、「製造のルネッサンス」ともいえる生産体制の大規模な再構築を行ってきました。インクジェットプリンターの本体自社生産を皮切りに、中国とタイの生産

平成28年3月期経営方針

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- (1) 全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を推進する
- (2) 重点地域の販売を強化し、海外事業を加速する
- (3) 次世代を担う製品開発を実行する
- (4) 新たな生産体制づくりを継続する
- (5) 人材の育成に主眼を置き、「経営能力のあるリーダー」を育てる

子会社設立、上海工場の移転、タイ・ロジャナの自社工場操業、インクジェットプリンター消耗品の筑波事業所への生産移管など、この4～5年で生産体制が大きく変わりました。

今期も、さらなる生産の効率化と製品供給の安定化を図るため、環境の変化に柔軟に対応できる生産体制の確立を目指していきます。

インクジェット事業成長で 今期も増収・増益を目指す

これらの施策を積極的に推進することにより、平成28年3月期の業績は、売上高889億円、営業利益79億9千万円、当期純利益57億4千万円を見込んでいます。

売上高は、米州・アジアを中心に伸ばし、全体で前期比3.8%の増収を見込んでいます。営業利益は、売上拡大に伴う経費の増加で販売費及び一般管理費が前年を上回るものの、引き続きインクジェット事業を中心に収益を伸ばし、16.8%の増益となる見込みです。売上高営業利益率は前期に比べ1.0ポイント増加し9.0%となります。

平成23年3月にインクジェット事業譲り受けにより発生したのれんの当連結会計年度における償却額は、6億5千

8百万円でした。なお、本件による償却は平成27年3月をもって完了しました。

平成28年3月期の期末配当予想は、こうした業績と財務状況に鑑み、15円増配の1株当たり60円を予定しています。また、本年5月8日に自己株式の取得を発表し、平成27年5月19日から6月2日にかけて41万4千株、9億9千9百万円の買い入れを行いました。

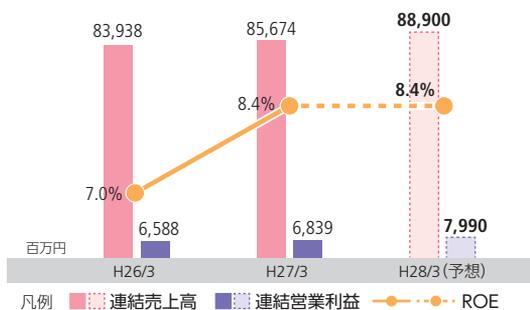
今後も独自の製品・サービスを通して、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

RISO Vision 16 実績・予想値

数値目標

連結売上高: 860億円
連結営業利益: 70億円
ROE: 7%

(計画策定時の想定為替レート:
1米ドル90円、1ユーロ116円)



平成28年3月期 連結業績予想

	平成28年3月期 業績予想	平成27年3月期 実績	対前年実績差異	
			増減金額	伸び率
売上高 (百万円)	88,900	85,674	3,225	3.8%
営業利益 (百万円)	7,990	6,839	1,150	16.8%
経常利益 (百万円)	8,160	6,999	1,160	16.6%
当期純利益 (百万円)	5,740	5,624	115	2.1%
売上高営業利益率 (%)	9.0	8.0		

注) 平成28年3月期業績予想の想定為替レート: 1米ドル118円、1ユーロ130円

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
売上高	83,938	85,674
印刷機器事業	82,358	84,195
日本	48,662	47,778
米州	5,728	5,797
欧州	16,191	17,547
アジア	11,777	13,072
不動産その他事業	1,579	1,478
売上原価	36,181	35,734
売上総利益	47,756	49,939
販売費及び一般管理費	41,168	43,100
営業利益	6,588	6,839
営業外収益	832	350
営業外費用	228	189
経常利益	7,192	6,999
特別利益	70	81
特別損失	144	59
税金等調整前当期純利益	7,119	7,021
法人税等	2,540	1,397
当期純利益	4,578	5,624

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,393	8,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,212	△ 1,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,814	△ 4,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	601	560
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,032	3,546
現金及び現金同等物の期首残高	21,612	14,580
現金及び現金同等物の期末残高	14,580	18,127

POINT④ 売上高

インクジェット事業が順調に推移し、前期に比べ売上が17億3千6百万円増加しました。為替影響額は18億7千3百万円でした。

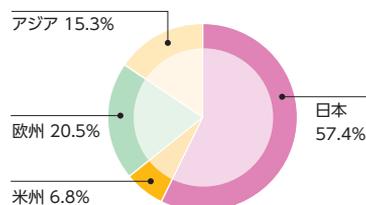
POINT⑤ 販売費及び一般管理費

前期に比べ19億3千1百万円増加しました。主な要因は研究開発費や人件費の増加、為替影響などによるものです。

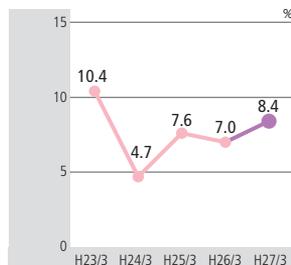
POINT⑥ 法人税等

繰延税金資産の見直しにより法人税等が減少しました。

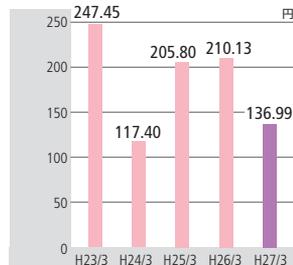
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率 (ROE)



一株当たり当期純利益



(注)平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割いたしました。



自社展示会の開催や、国内外のさまざまなフェア・イベントに出展

当社は、より多くのお客様に製品を体験いただくため、国内外さまざまなフェアやイベントへ出展し、自主催の展示会を全国各地で開催しています。

【国内】

昨年12月から本年3月にかけて「RISO Print Festa」などの自社展示会を全国182カ所で開催。会場では、高速カラープリンター「オルフィス」やデジタル印刷機「リソグラフ」などを一堂に展示し、幅広く活用方法をご提案しました。

フェア・イベントでは、昨年9月に物流・ロジスティクスに関するアジア最大級の展示会「国際物流総合展2014 LOGIS-TECH TOKYO 2014」、同10月に地方公共団体の電子行政推進を目的とした「地方自治情報化推進フェア2014」、本年2月にJAGAT(日本印刷技術協会)が主催する「page2015」をはじめ、さまざまな専門展に出展。「オルフィス」による帳票印刷の効率化・コスト削減、印刷

物の内製化などのソリューションを訴求し、「リソグラフ」では2色印刷の提案を行いました。



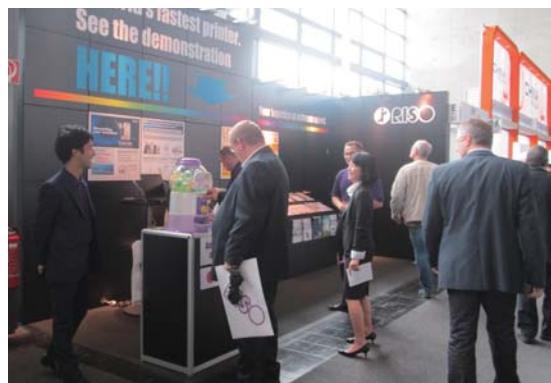
「page2015」(東京・池袋)

【海外】

昨年5月、ドイツのハノーバーで開催された「CeMAT2014」に出展しました。この展示会は、物流業分野における世界最大級の展示会で今回は43カ国の企業が参加し、延べ5万3,500人の来場者が訪れました。当社は、「オルフィス」を出展し、帳票類の高速出力による作業効率化やコスト削減などを提案。プリント速度や耐久性に高い関心が寄せられました。

また昨年11月には、中国・上海新国際博覧センターで開催された中国最大級の国際印刷機材見本市「PRINT CHINA 2014」に出展しました。中国内外の企業が最新の印刷機材やサービスを出展するなか、当社は「オルフィス」を提案。来場者からは、ランニングコストやスピード、

多彩なオプションに大きな関心が寄せられました。



「CeMAT2014」(ドイツ・ハノーバー)

2つの環境関連の賞を受賞

当社は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球規模での環境保全に貢献する」ことを“理想環境憲章”に謳い、企業活動を推進しています。その評価として、この度2つの賞をいただきました。

山口県宇部市が主催する「平成26年度緑のカーテンコンテスト」事業所部門では、宇部工場が最優秀賞を受賞。また、昨年発行した「環境経営報告書2014」は、環境省および（一財）地球・人間環境フォーラムが主催する「第18回環境コミュニケーション大賞」において、環境報告書部門「優良賞」を受賞しました。

これらの受賞を励みに、これからも環境負荷低減に向けた活動に取り組んでまいります。



宇部工場・管理棟南側に設置された幅15m×高さ5mのゴーヤのカーテン

柘形中学校で環境出張授業を実施

当社は昨年11月、神奈川県川崎市の市立柘形中学校で行われた「平成26年度エネルギー環境教育ワークショップ」に参加し、出張授業を行いました。生徒らは、ガリ版印刷の原稿づくりから印刷までの工程を体験することで、印刷の進化を実感していました。

ネパール地震災害への義援金寄付を実施

当社は、本年4月に発生したネパール地震の被災者支援と被災地復興のため、100万円の義援金を寄付いたしました。



エネルギー環境教育ワークショップの様子



リソグラフィインクの表現力・安定性

「リソグラフ」に使われているのは、「油分」と「水分」で構成されるエマルジョンインク。このインクは昭和29年に当社が日本で初めて開発しました。今回は、理想科学のものづくりの原点でもある「リソグラフ」のインクについて紹介します。

「リソグラフ」の中で乾かず、印刷されるとすぐ乾き定着

「リソグラフ」は製版されたマスターをドラムに装着し、印刷ドラムの内部からインクを用紙に押し出し高速で印刷します。印刷待機中、油分の中に水分が分散している「リソグラフ」のエマルジョンインクは、油分が水分を覆うことで印刷ドラムの中で蒸発を防ぎます。そして印刷と同時に水分が紙に吸収され、顔料と油分が紙の表面に定着します。

当社は、このようなエマルジョンインクの特性と「リソグラフ」の高速印刷のしくみを調和させ、安定した品質で精細な画像を表現する独自のインク開発を行っています。

豊富なカラーバリエーション 環境対応も万全

「リソグラフ」は、基本の17色に加え、50色のカスタムカラー、お客様のご注文に応じて調合するオーダーカラーと豊富なバリエーションを有しています。環境に関連した対応も万全です。『RISOインク』は、植物性の素材である大豆油を採用した大豆インク*です。また、使用済みインクボトルは回収し、再びプラスチック製品の原料に加工しています。

*オーダーカラーインク等、一部大豆インクに対応しないものがあります。



昭和29年
「RISOインク」

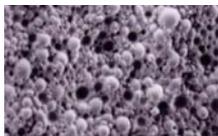


Now
「RISOインクEタイプHG」

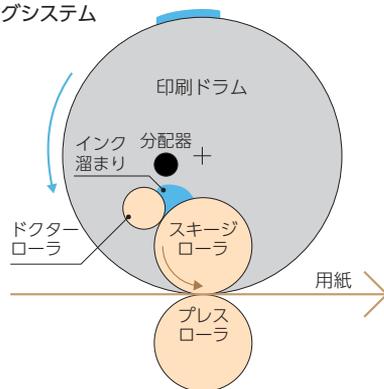
「リソグラフ」の自動インキングシステム

「リソグラフ」は、印刷スピードにあわせてプレスローラで圧力を自動調整し、インクの転移量を調整します

エマルジョンインクの拡大写真



←1ミクロン



使いやすい基本の17色

レッド	ブライトレッド	リゾーマリーンレッド	バーガンディーレッド
ブラウン	イエロー	グリーン	ティールグリーン
ブルー	ミディアムブルー	リゾーフエダルブルー	パープル
ライトグレー	グレー	蛍光ピンク	蛍光オレンジ
		ブラック	

色数豊富なカスタムカラー50色



注) カラーサンプルは印刷のため、実際の色とは異なります。



RISOのお客様

「オルフィス」や「リソグラフ」をお使いいただいているユーザーの方々をご紹介します。今回は、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部様と読売センター山武・有限会社稲葉新聞店様をご紹介します。

ORPHIS

業務効率化以上のポジティブな変化を生む



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部 (神奈川県横浜市)

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部様は、福祉に関わる県民のボランティア活動の支援や推進に取り組む組織。印刷環境改善のため、「オルフィス」を導入されました。多くの情報発信を予算内で行うため、モノクロ印刷を活用されています。

支援事業の中でも、大量の印刷業務が発生するのがボランティア関連の講座や研修。告知チラシを刷り関連施設に設置するほか、参加者に対し30枚ほどのレジュメを用意するそうです。「導入前は3時間かかっていたところ、いまは1時間で終わられます」と笑顔の担当者様。作業が効率化できたことで、新しいアイデアにもどんどん挑戦できる体制になったと喜びの声をいただいています。「オルフィス」は、業務効率化以上のポジティブな変化を生んでいるようです。

RISOGRAPH

地域のお客様に喜んでいただける情報発信



読売センター山武・有限会社稲葉新聞店 (千葉県山武市)

読売センター山武・有限会社稲葉新聞店様は、昭和28年創業の地域に根差した歴史ある新聞販売店です。お客様へのサービスの向上を図るため、「リソグラフ」の2色印刷機を導入されました。古紙回収などのお知らせや近隣駅の時刻表、タウン情報、人材募集チラシなど地元に着着したきめ細かな情報をお客様へ提供しています。

店主様は、一度に2色プリントのできる「リソグラフ」のデモンストレーションを見て、さまざまなアイデアが浮かび導入を決めたそうです。「2色印刷は、単色印刷に比べてもコストをほとんど上げることなく訴求力をアップできるし、他店との差別化も図れる。お客様からも好評ですし、今後もさまざまな活用法を考案していきたいですね。「リソグラフ」で情報提供の可能性が今後も広がりそうです。

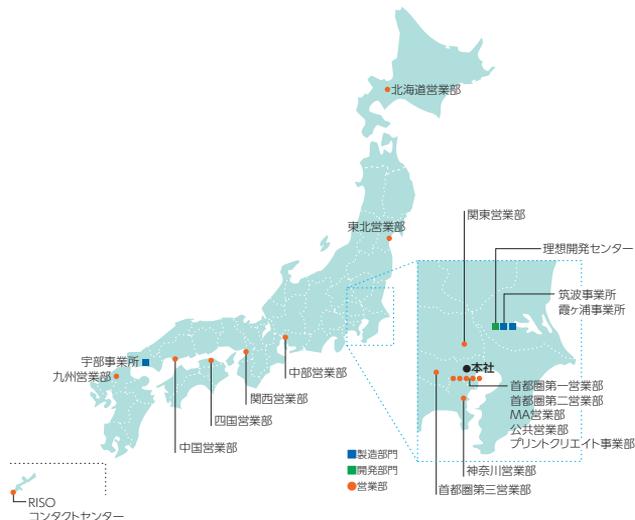


国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

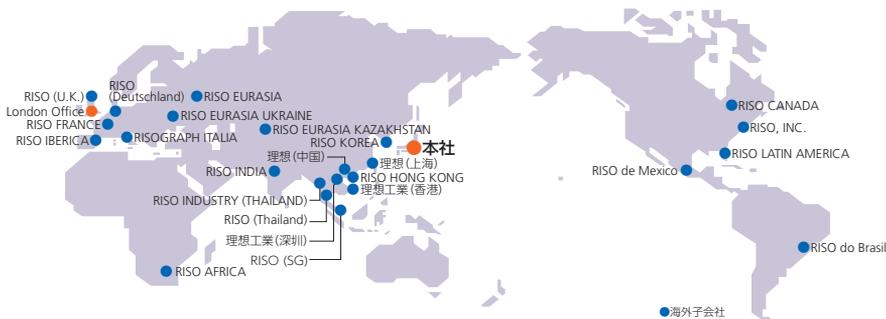
国内3カ所の製造拠点では、オフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターなどを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」に集約し、業務効率の向上を図り次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は25の海外子会社を中心に、オフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO do Brasil Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.

- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO EURASIA UKRAINE LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想工業(深圳)有限公司
- 理想(中国)科学工業有限公司
- 理想(上海)印刷器材有限公司

- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.
- RISO (SG) PTE. LTD. (平成27年4月設立)



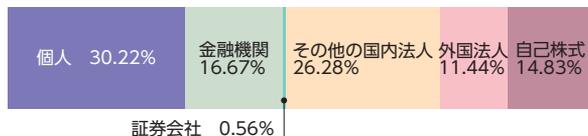
株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 135,680,000株 (前期末比67,840,000株増加)

発行済株式の総数 47,406,332株 (前期末比23,703,166株増加)

株主数 2,686名 (前期末比 8名 減少)

株式数比率



大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
理想科学工業株式会社	7,030	14.83
有限会社理想社	4,941	10.42
公益財団法人理想教育財団	2,661	5.61
あかつき興産株式会社	1,934	4.08
理想科学工業従業員持株会	1,798	3.79
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	1,567	3.31
羽山 明	1,216	2.57
羽山 治	1,194	2.52
羽山 尚	1,180	2.49
伊藤 眞理子	1,170	2.47

自己株式の取得について

当期中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	727,600株
取得価格	2,538百万円

株式の分割について

平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割いたしました。



会社概要

商号	理想科学工業株式会社	
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号	
創業	昭和21年(1946年)9月2日	
会社設立	昭和30年(1955年)1月25日	
資本金	14,114,985,384円 (平成27年3月31日現在)	
従業員数	1,724名(グループ全体 3,549名) (平成27年3月31日現在)	
連結子会社	26社(国内2社 海外24社) (平成27年3月31日現在)	
役員	代表取締役社長	羽山 明
	常務取締役	高橋 靖宏
	常務取締役	遠藤喜八郎
	取締役	高橋 康信
	取締役	池嶋 昭一
	取締役	成宮 慶臣
	取締役	上田 雅弘
	取締役	橋本総一郎
	取締役	氏家 直樹
	取締役	加野 敏明
	取締役	林 享史
	取締役	大島 健嗣
	取締役	奥 総一郎*
	常勤監査役	田澤 康男
	監査役	飯塚 良成*
	監査役	八田 進二*
	(平成27年6月24日現在)	

(注)*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、FSC®認証紙を使用しております。

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル